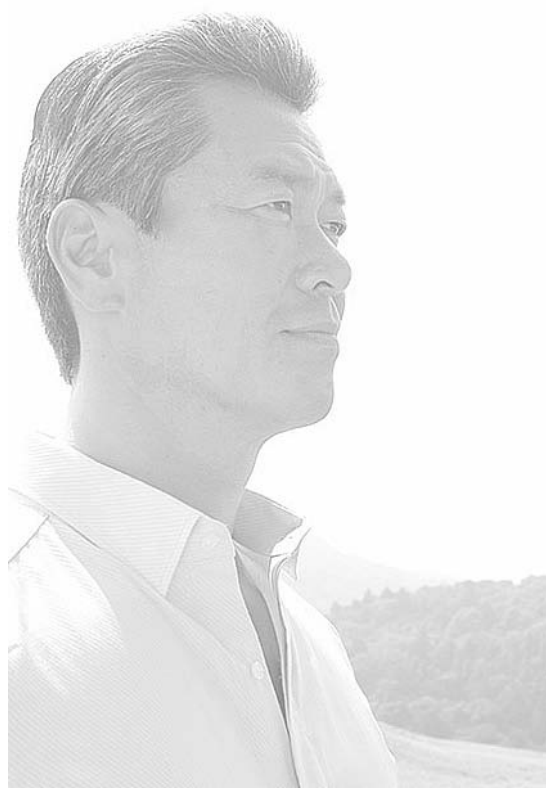


# NEWS

## 事業仕分け



政府の行政刷新会議による「事業仕分け」が11月11日から開始されました。私も国土交通副大臣として連日、事業仕分けに参加しています。「事業仕分け」とは民間シンクタンク「構想日本」が行ってきた予算の無駄を洗い出す手法です。平成14年から地方自治体を対象に取り組みを始め、これまでに40を超える自治体の予算の効率化に貢献してきましたが、これを国に適用しようというのです。寒風吹きすさぶ東京市ヶ谷の国立印刷局。その片隅にある体育館が事業仕分けの会場です。印刷局になぜ体育館があるのか。首をかしげたくもなりません。図らずも税金の無駄遣いを削る作業を行うには象徴的な場所での作業となりました。

### ◆進め方と問題点

事業仕分けは民主党国会議員と有識者からなる「仕分け人」が3つのワーキンググループに分かれ、「国が行う必要があるか」など、事業の必要性を吟味します。会場では激しい議論が交わされ、各事業1時間程度で結論が出されますが、概して事業の必要性を主張する各府省側に厳しい評決結果が出されているようです。このような作業の流れに対し、各府省の大臣からは「いきなり刷新会議が入ってきて削るといのはいささか乱暴」という発言も出ているようです。

メディアはこれら発言を各府省による「抵抗」ととらえ、改革に「後ろ向き」と見る向きもありますが、実はこれら発言の背景には行政刷新会議が抱える本質的な論点が潜んでいます。各府省の政務三役が政治主導で決定した事項を、国民から選挙に

より選ばれたわけではない「仕分け人」が否定することを意味することになりかねないからです。

前政権の予算編成の段取りは、財務省が各府省から上がってきた概算要求を査定し、各府省と財務省の官僚同士の折衝によりほぼ決定し、最後に大臣が出てきて合意するという段取りでした。そこで、これまで予算編成を主導してきた財務省が、各府省の予算を削減する大義名分とするため、行政刷新会議の事業仕分けを利用しているとの声も聞かれます。財務省は行政刷新会議事務局に5人、国家戦略室に2人、同省出身者を送り込み、また、鳩山総理の事務秘書官4人は自民党政権時代の慣行通り、財務、外務、経済産業の3省と警察庁の出身者が起用されました。財務省は新政権における影響力維持のための橋頭堡を着々と築きつつあるようにも見えます。

### ◆目指すべきもの

事業仕分けにより、府省が所管事業について国民に公開された場で説明責任を果たさなければならぬ状況を作り出したことは、税金の支出に対して緊張感を持たせるという側面があり、それだけでも意味があることも事実です。

政治主導を目指す民主党政権は、「政務三役会議」「閣僚委員会」により重要な政策や予算を決定することになります。来年度予算を真に国民の生活にとって必要なものとできるのか、年末にかけて、これから正念場を迎えます。(了)

## まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年会費(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所  
0742 (40) 5531

# 「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」  
 （政治資金管理団体に同じ）  
 会費：年会費（一口）10,000円  
 期間：一年間（政治献金）



## ◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年会費（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

## 入会のお申込、詳しいお問い合わせは

**まぶちすみお後援会事務所**

**TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。**

## スタッフ日記 ドッキドキ♡初潜入！

与党になって私の仕事は大きく変わっていませんが、それでも今まではなかった仕事がいくつかあります。

その1つが、賞状のお願いです。「〇〇大臣賞」といった表彰の、賞を出す許可を貰い、実際の賞状に大臣の名前と共に押印して頂く仕事です。国交省の副大臣室に行くのもまだ少し緊張しているくらいですから、他の省庁の大臣室なんて、緊張しすぎていつも挙動不審になってしまいます。

中でも一番ドキドキしたのが、首相官邸です。全部見たわけではないのであまり詳しくは語れませんが、なぜか建物の中に竹林があり、下の階から最上階まで竹が青々と生い茂っています。また、至るところに巨大な石が置かれていたりするの、私のような庶民とは縁のない高級感を醸し出

していて圧倒されます。

建物の感じと共にその警備の厳重さも人を緊張させます。まず、入口付近に警官がたくさんいて、彼らに用件を伝えると、トランシーブでどこかと連絡を取ってOKかどうかを判断されます（その間、往来にずっと立たされたままなので、なおさら不安は募ります）。無事許可が出て、至る所に警備の方が立っており、特に私が用のあった階では、角ごとに人が立っているの、むせ返るような高級感と、見られている緊張感とが相まって、甲子園球児のように背筋を伸ばして歩かなければ怒られるのではないかという気になりました。

もっとゆっくり中を見てみたいという気もしますが、30分いたらグツリしちゃうかも、と思わせる緊張感に完敗です。

（シズ）

## 週間活動報告

7 土

帰奈、【講演】パナソニック役員研修会、西大寺北口駅頭演説、横浜へ、横浜国立大学土木工学第3期卒業25周年同期会

8 日

宮崎へ、MRT宮崎放送、宮崎日日新聞、【講演】宮崎県連大会、東国原宮崎県知事懇談、上京

9 月

総合政策局決裁、道路局打合せ、定例記者会見、記者懇談会、連合奈良国会参観挨拶、三菱ふそう鈴木会長挨拶、官房人事課レク

10 火

建築基本法制定準備会面談、河川局決裁、褒章伝達式、第14回政務三役会議、官房会計課打合せ、時事通信田崎史郎解説委員、分析報告（自交局、海事局、鉄道局）、道路局指示、河川局事業仕分け対応

11 水

事業仕分け、官房会計課レク、国土交通省所管独立行政法人に関する懇談会、寺田学代議士・松本大輔代議士の結婚を祝う会、国交記者クラブ懇談会

12 木

第6回副大臣会議、参議院国土交通委員会、藤野幹事長打合せ、事業仕分け、天皇陛下御在位20周年記念式典、国交省奈良県ゆかりの会懇談会

13 金

衆議院国土交通委員会、住宅局レク、官房会計課打合せ、宮中茶会、自動車総連西原会長、国交省記者クラブ懇談会

衆議院  
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：  
**office@mabuti.net**

国会  
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1  
 衆議院 第1 議員会館 437号室  
 TEL 03 (3508) 7137 FAX 03 (3506) 3572

奈良  
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）  
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F  
 TEL 0742 (40) 5531 FAX 0742 (40) 5532